

社会人人生を振り返って・・/子供苦手でも大丈夫です！！

千代田化工建設株式会社 所田 綾子

” 仕事は楽しい。でも、子供はいいものですよ～。是非経験して欲しい！”

この依頼を受けて、これから仕事、結婚、出産を経験するであろう学生のみなさんに向けて、わたくしに何が伝えられるだろうと考えた結果、この一言になりました。

ちょっと恥ずかしいのですが、かつては子供が苦手でした。

そんなわたしでも今では出産・育児は是非経験することを薦めたい！と思っています。

大学で化学工学を専攻し、プラント設計の仕事につきたくて今の会社に入社したのが、約10年前。それ以来ずっとプラントのプロセス設計を担当してきました。

入社から現在までの社会人人生を振り返ってみますと、こんな感じです。

入社3年まで 研修1年を経てプロセス系へ配属。会社が徐々に苦境に。
残業は多かったが、きついと思わなかった。仕事を覚えたくて、
とにかくがむしゃらだった。

入社4年目 結婚
入社4年～6年 プロセス設計業務。会社がいよいよ瀕死状態に。
新卒採用が無くなり多くの同僚が退職、子会社への移籍など。
悲しいことも多かったが、この仕事自体は好きだったので、
辞めずに続けた。残業かなり多。
初めて自分が設計したマイタワーカー稼働。感激！！
この仕事をやってきてよかったなあと思った。
アメリカのPE(Professional Engineer)資格を取得。

入社7年目 第1子出産
入社8年～10年 6ヶ月の育児休業の後、同じ職場へ復職。復帰初日から
次プロジェクトの打合せがあったが、業務から
遠ざかっていたので話について行けず焦る・・・。
会社も少しずつ回復。
人もまた増えはじめ、後輩や派遣さんを指導する機会も。

入社11年目～現在 第2子出産。現在、育児休業中

仕事を通じて得たことは？

- ・助け合うこと。一人で仕事してるんじゃないです。
- ・よく話を聞き、よく話をすること。お客さんと、上司と、後輩と、家族と。
- ・自分で考える。でも一人で悩まない。
- ・時間は限られています。本当にすべきことは何か？本当はしなくていいことは何か？

今では、二人目の育休を楽しめるようになりましたが、実は学生の頃は子供が苦手でした。苦手というより、嫌いでした。

うるさいし、何もできないから手がかかるし、なんでみんなが当たり前のように出産するのかわかりませんでした。(女性としてどうかと思われそうですが・・・)

出産があるから、女性は仕事する上でも不利で、子供は仕事の障害になるとしか思っていなかったんです。

でも、妊娠し、自分の子供を持ってすっかり変わりました(笑)。

自分の設計したプラントも非常に大切に我が子のようにありますが、妊娠・出産の体験を通して、命をつないでいくことの重さと喜びのようなものに初めて気づくことができたのです。出生直後の小さい小さい赤ちゃんを抱いた時の感動といとおしきは他では得がたい気持ちだと思います。

わたしがいなくなっても次の時代には、この子が生きていってくれるんだなー、生きた証がひとつ残せたなあ、なんて思いました。

子供ができる前は、夜遅くまで残業が当たり前でした。今は保育園のお迎えがあるため、忙しい時は早朝出勤で対応していますが、やはり勤務時間自体はぐっと減ったと思います。

出張も夫の都合を聞いてからと昔みたいにいつでもOKとはいけなくなりました。その為、復職後は「仕事も育児も両方やってるつもりだけど、結局両方中途半端なんじゃない？どちらかを専門にやっている人には勝てないんじゃない？」と、悩んだ時期がありました。

子供と過ごす時間の短さに罪悪感を感じた頃がありました。

逆に、同僚は残業しているのに、わたしは早く帰ってしまうことが申し訳なくて、気まずさを感じた頃がありました。

どうやって吹っ切れたのか、忘れてしまいましたが(悩んでなかったのかなあ。苦笑)、悩んでも仕方がないと割り切ろう！と思うようになりました。

とにかくやれることをやるしかない。専門でやっている人には時間じゃ勝てない。だからその分内容で負けないように頑張ろうって思っています。

時間がない分、仕事では本当にすべきことは何か？と効率を追求するようになりましたし、自分が休んでも(小さい子供は熱を出しやすいので急に保育園に行けなくなることもあり、その場合は会社を休まなくてはいけなくなる)迷惑がかからない様に努めています。

子供とは、時間が短い分、家に帰ったら子供を最優先にと努めています。

家事をしていても「おかあさん、これ見て見て〜！」などと邪魔しにきますが、ご飯を作るのを一旦とめて見に行くようにしています。それとスキンシップですね。4歳になったのであまり言わなくなりましたが、「抱っこして！」と要求があったら、他のことをしていてもやめて抱っこすることにしています。

仕事と家庭のバランス、どこで満足できるかはその人その人にしか答えが出せないものです。わたしは今の自分のバランスに満足しています。

もちろん、そういうわたしを受け入れてくれている家族(夫)と職場の上司、同僚に対しては、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

これから社会に出る皆さんも、自分なりのバランスを見つけていただきたいと思います。

最後まで読んで下さってありがとうございました。

【執筆者の紹介】



最終学歴：金沢大学大学院

工学研究科 物質化学工学専攻

現職：千代田化工建設株式会社

プロセス設計センター